

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【公開番号】特開 2018-179769 (P2018-179769A)

【公開日】平成 30 年 11 月 15 日 (2018.11.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-044

【出願番号】特願 2017-79981 (P2017-79981)

【国際特許分類】

G 0 1 R 11/04 (2006.01)

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

H 0 5 K 5/03 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 11/04 C

H 0 5 K 5/02 L

H 0 5 K 5/03 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 12 日 (2019.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

壁面に設置されることを前提とする電力量計であって、
前記壁面への設置状態において、
前記壁面に対向する背面板部と、前記背面板部から前方に向かって立ち上がり、両側部および天面部を囲う U 字状の枠部を有するベース部材と、
前記枠部の内側に収納され、電力を計量する計量部と、
前記計量部を含む前記ベース部材を覆うカバーと、を備え、
前記枠部は、
外周に沿って天面から両側面の下端に向けて延びる主溝と、前記主溝のうち前記両側面に形成された部分に一端が連通し、他端が背面側で開口した複数の副溝と、が形成されていることを特徴とする電力量計。

【請求項 2】

前記副溝の前記他端は、前記壁面から離れていることを特徴とする請求項 1 に記載の電力量計。

【請求項 3】

前記カバーの前記副溝を覆う部分の背面側の端面は、前記副溝の前記他端よりも前記壁面から離れていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電力量計。

【請求項 4】

前記枠部は、前記副溝の前記他端が前記一端より下方に位置するように傾斜していることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の電力量計。

【請求項 5】

前記副溝の下側の壁面の前記一端における位置 P i d は、前記副溝の上側の壁面の前記他端における位置 P e u よりも上側に位置することを特徴とする請求項 4 に記載の電力量計。

【請求項 6】

前記位置 P i d は、前記副溝の上側の壁面と前記カバーの背面側の端面との交点の位置 P x u よりも上側に位置することを特徴とする請求項 5 に記載の電力量計。

【請求項 7】

前記主溝の前記天面に形成された部分は、側部に向かって下方に向かうように傾斜を有することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の電力量計。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の電力量計は、壁面に設置されることを前提とする電力量計であって、前記壁面への設置状態において、前記壁面に対向する背面板部と、前記背面板部から前方に向かって立ち上がり、両側部および天面部を囲う U 字状の枠部を有するベース部材と、前記枠部の内側に収納され、電力を計量する計量部と、前記計量部を含む前記ベース部材を覆うカバーと、を備え、前記枠部は、外周に沿って天面から両側面の下端に向けて延びる主溝と、前記主溝のうち前記両側面に形成された部分に一端が連通し、他端が背面側で開口した複数の副溝と、が形成されていることを特徴とする。